

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 152 (通算 438 回)
 大学法人の内部統制とリスク管理

2009 年 10 月 6 日 (火)

監査業務の実質化～検証と進化


～ 監事の常勤化／教育の質保証と教学の業務監査／内部監査の重点化 ～

- ※ 学校会計の要点比較と課題／国公立法人の監事制度の問題点／会計・業務監査の事例
- ※ 公的研究費の管理・監査／実務上の留意点と改善・強化／内部統制とリスク管理の要点
- ※ [学校法人] 教育の質保証と業務監査の役割／監事による教学監査の現段階と留意点
- ※ [国立大学法人] 理念なき監事制度の発足／監事監査の目的・効用～監事・学長として

● 講師陣 ●

- 守屋 俊晴 氏 / 法政大学大学院アカウンティングスクール 教授、首都大学東京 監事、公認会計士
 植草 茂樹 氏 / 新日本有限責任監査法人 シニアマネージャー・公認会計士
 久岡 康成 氏 / (学)立命館 監事(常勤)、元・常務理事、元・立命館大学法学部長、弁護士
 梶谷 誠 氏 / 電気通信大学 学長、前・信州大学 監事

2009 年 10 月 6 日 (火) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)

 地域科学研究会
 高等教育情報センター

日 時：2009 年 10 月 6 日 (火) 9:40～16:50
 会 場：剛堂会館ビル(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362
 アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口
 から徒歩 10 分
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので
 必ずご確認ください。
 参加費：A. ご一名(資料代込)
 24,000 円(消費税込)
 B. メディア参加(資料・音声 CD 送付)
 43,000 円(送料、消費税込)

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ
 FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 全ての口座名<(株)地域科学研究会>
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
 代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03 (3234) 1231 / Fax: 03 (3234) 4993
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/>

※参加費の払い戻しは致しませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆ FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 152 2009 年 月 日

監査業務の実質化～検証と進化

当日参加

メディア参加

(□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名

所属部課役職名

メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:40 11:20	<p>□ 国公立大学における監事監査と監査報告に関する問題点 ～学校会計の特徴をふまえて～ 法政大学／首都大学東京 守屋 俊晴</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国・公立法人・学校法人の会計基準等の要点と問題点 2. 監事監査の制度上の問題点 <ol style="list-style-type: none"> (1) 就任の時期・任期と監査責任 (2) 監査精度の向上と常勤監事制度の採用 (3) 監査室もしくは監事監査室の必要性 (4) 会計監査人との連携の必要性 3. 監事の監査報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 監事監査と監査報告書の事例 (2) 監査報告書の記載事項「前段部分」と問題点 (3) 監査報告書の「会計関係に関する部分の記載事項」の特徴 4. 監事の「会計」監査報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 監査報告書の記載事項「監査の結果」と問題点 (2) 監査報告書の「会計関係に関する部分の記載事項」の特徴 (3) 監査報告書の開示の可否と記載事項の項目の問題点 5. 監事の「業務」監査報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 業務監査の事例（その1ー東京大学のケース） (2) 業務監査の事例（その2ー京都大学のケース） <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:30 12:40	<p>□ 公的研究費の管理・監査の実務上の留意点 ～執行プロセス・経理処理・検収体制の改善・強化～ 新日本有限責任監査法人 植草 茂樹</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公的研究費の管理・監査のガイドライン <ol style="list-style-type: none"> (1) 公的研究費の管理はどのように行うべきか (2) 公的研究費の監査はどのように行うべきか 2. 公的研究費管理を行う上での実務上の留意点 <ol style="list-style-type: none"> (1) 発注・検収体制の改善・強化 (2) 旅費制度の改善・強化 (3) 非常勤雇用・謝金制度の改善・強化 3. 大学における内部統制の考え方 <ol style="list-style-type: none"> (1) 内部統制とは (2) 大学としてリスク管理をどのように行うべきか <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:40 15:10	<p>□ [学校法人] 監事による業務監査と私立大学における教育の質保証 ～立命館大学における経験から～ (学)立命館 久岡 康成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに <ol style="list-style-type: none"> (1) 自己紹介と本報告の性格 (2) 監事による、教育の質保証のための業務監査（以下便宜上、教学監査と呼称） 2. 教育の質保証に関する立命館大学の2008年までの取り組み <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育の保障 (2) 学習の保障 (3) 教育の質保証の仕組み（組織とシステム） 3. 監事による教学監査の必要性和可能性の発生 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教学監査一般の必要性 <ul style="list-style-type: none"> ・大学の「大衆化」と教学監査の必要性（経営支援レベルでも） ・教育の質保証の必要……消費者的学生像、人材育成の要請、国際化・少子化 (2) 教学監査と教授会の自治～業務監査一般の可能性と限界 (3) 監事による教学監査の特色 4. 監事による教学監査の現状 <ol style="list-style-type: none"> (1) 改正私立学校法と教育の質保証の仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・制度整備……理事会による理事の監督制度、監事による業務監査 ・システム整備……（事業計画書と）事業の結果報告；情報公開の要請 (2) 私立大学連盟等における議論の状況 (3) 監査規定制定（2008年）後の立命館大学の場合 (4) 監事による教学監査の現段階……経営（決定・執行・監視）支援と質保証 5. 結びにかえて～監事による教学監査を考える <ol style="list-style-type: none"> (1) 三様監査の中での監事監査 (2) 監事監査のあり方 (3) 教学監査の展開から「法的責任」の受容へ <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:20 16:50	<p>□ [国立大学法人] 監事監査の目的と効用 ～監事体験を踏まえ、学長の立場から～ 電気通信大学 梶谷 誠</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法人化による国立大学経営改革の要 2. 理念なき監事制度の発足 3. 監事としてすべきこと、すべきでないこと 4. 学長として監事監査をどう活かすか <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>